

【6月30日(木)】

C-1 14:00～15:00 レクリエーション/回復期リハ

座長 柳澤正 (公立七日市病院・リハビリテーション科技師長・PT)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|----------|-------|------|
| C-1-1 | 回復期リハビリテーション病棟におけるレクリエーションの導入 | 平成病院 | 中村真理 | |
| C-1-2 | 病棟レクリエーションがもたらす効果 | 新札幌パウロ病院 | 竹重千恵子 | |
| C-1-3 | 脳塞栓による左片麻痺の治療例 ～ミラーセラピーを用いて～ | 京都南西病院 | 山内悠太郎 | |
| C-1-4 | タオルギャザーエクササイズによるバランス能力への影響について | 中洲八木病院 | 加藤祐希 | |
| C-1-5 | 回復期リハビリ病棟における寛ぎの空間の有効性を考察 - Cafe空間の有無による、患者の寛ぎへの心理の変化 | 新戸塚病院 | 岡元勇樹 | |
| C-1-6 | 「かましえ～！ふえ～く！！」～最後まで諦めなかったアプローチで3食経口摂取へ！そして～ | 北中城若松病院 | 亀谷歩美 | |

C-2 15:00～16:00 回復期リハ

座長 橋本康子 (橋本病院・理事長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|---------------|------|------|
| C-2-1 | 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の膝伸展筋力と移乗動作との関係 | 千里リハビリテーション病院 | 黒岡奈々 | |
| C-2-2 | 直接アプローチにて幻肢が消失した症例報告 | 阿蘇温泉病院 | 宮崎理恵 | |
| C-2-3 | 当院の車いす環境について-車いすの種類・入院患者の座位能力に注目して- | 花の丘病院 | 森山深春 | |
| C-2-4 | 回復期病棟から療養病棟へ転棟した患者のADL推移 | 山口平成病院 | 伊藤慎司 | |
| C-2-5 | 『しているADL』『出来るADL』の相違について～現状と今後の課題～ | 茨木医誠会病院 | 松原由佳 | |
| C-2-6 | 「できる時にできる事を」～進行性核上性麻痺を呈した事例の在宅復帰を目指して～ | 北中城若松病院 | 玉城希 | |

C-3 16:10～17:10 維持期リハ

座長 清水祥史 (熱川温泉病院・リハビリ診療科部長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|-----------------|-------|------|
| C-3-1 | 左片麻痺患者の全身状態悪化に伴った長期臥床による活動性低下に対する取り組み 環境設定による移乗介助量軽減を介して | 竹川病院 | 富屋かずみ | |
| C-3-2 | 失語症を呈した片麻痺患者に視覚的代償を用い歩行障害が改善した例 | 信愛病院 | 上野善行 | |
| C-3-3 | 片麻痺症例の歩容改善にノルディックが寄与した一例 | 介護老人保健施設 老健ふじさか | 神保優子 | |
| C-3-4 | 二重課題条件の変化が高齢者の歩行パフォーマンスに与える影響～計算課題の検討～ | 小林記念病院 | 竹ノ内良輔 | |
| C-3-5 | 慢性期脳卒中片麻痺者への作業療法 ～現症の証明と経過を重視した機能予後予測～ | 柴田病院 | 片岡美奈 | |
| C-3-6 | 慢性期脳梗塞患者へのリハビリテーション実施により歩行能力に変化がみられた1例報告 | 上條記念病院 | 宮田洋 | |

C-4 17:10～18:10 維持期リハ

座長 阿部邦彦 (和恵会記念病院・課長補佐・OT)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|---------|------|------|
| C-4-1 | 転倒を繰り返すパーキンソン患者の特性とリハの役割について | 札幌西円山病院 | 松本夏樹 | |
| C-4-2 | 慢性関節リウマチにパーキンソン氏病を併発した症例の食事動作に対する作業療法 | 洞爺温泉病院 | 岡室淳 | |
| C-4-3 | 長期間の創外固定により両下肢に重度の拘縮を生じた症例～起居・移乗動作の介助量軽減へのアプローチ～ | 西山堂慶和病院 | 鈴木智也 | |
| C-4-4 | 筋萎縮性側索硬化症を呈した一症例 | 京都南西病院 | 西田桃子 | |
| C-4-5 | さらなる拘縮予防に向けた課題と取り組み | 青梅慶友病院 | 吉際俊明 | |
| C-4-6 | 介護療養病棟における離床向上プログラムと具体的効果の検証 | 小林記念病院 | 長友勇人 | |

D-1 14:00～15:00 レクリエーション

座長 大寺透 (南淡路病院・看護長・看護師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|----------|-------|------|
| D-1-1 | レクリエーションの充実に向けて | 北淡路病院 | 眞田智弘 | |
| D-1-2 | 今日を生きる喜び、明日を生きる楽しみを感じる行事づくり | 三条東病院 | 吉田純志 | |
| D-1-3 | 苦痛を和らげ生き生き生活～セラピューテックレクリエーションの導入～ | 奈良東病院 | 脇元正三 | |
| D-1-4 | 童謡と手遊びを用いたレクリエーションの効果～患者様と2週間前から練習を行ってみて～ | 緑水会病院 | 本田真吾 | |
| D-1-5 | 意思表示が困難な経管栄養の患者様の活性化に取り組んで～音楽を活用して～ | 三次病院 | 青杉由美子 | |
| D-1-6 | みんなの笑顔がみたいから 昼の会を実施して | 北九州八幡東病院 | 木村岬 | |

D-2 15:00～16:00 在宅リハ

座長 市川徳和 (永井病院・院長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|---------------|-------|------|
| D-2-1 | 神経線維腫症 型に由来する重度の呼吸不全患者への在宅リハビリテーション～腹部筋力強化の有効性について～ | 鳴門山上病院 | 高橋昌弘 | |
| D-2-2 | 在宅における認知症者への支援により、介護負担の軽減と介護者の心理的变化が見られた一症例 | 手稲ロイヤル病院 | 高橋朋寛 | |
| D-2-3 | 在宅現場での連携～ある1症例を通じて～ | いけだ病院 | 堀之内智朗 | |
| D-2-4 | 退院後再訪問の取り組みをはじめて～退院後の生活を見直し、更なる充実したサービスを目指す～ | 山口平成病院 | 芦川聖明 | |
| D-2-5 | 訪問リハビリの有効性～ADLを指標として～ | 阿蘇温泉病院 | 石山勝也 | |
| D-2-6 | 「この家に長いこといたいんや」 - 訪問リハビリテーションを通して - | 福井リハビリテーション病院 | 齋藤理沙 | |

D-3 16:10～17:10 スキンケア

座長 竹中佳子 (光風園病院・看護主任・看護師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|-------------|------|------|
| D-3-1 | 気管切開孔の皮膚ケア～皮膚トラブル予防策を実施して～ | 協和南病院 | 中村美穂 | |
| D-3-2 | 胃瘻のスキントラブルに対する取り組み ～重曹を使ったケアを試みて～ | 富家千葉病院 | 河野寛子 | |
| D-3-3 | 胃瘻造設患者のスキントラブルへの工夫 | 柴田病院 | 橋本宮子 | |
| D-3-4 | 難治性皮膚疾患患者の頭皮ケア～蒸しタオル、シャワーキャップの使用を試みて～ | 信愛病院 | 廣瀬洋子 | |
| D-3-5 | スキントラブルを繰り返す股関節拘縮のある患者へのケアの検討～ベッド上のポジショニングと排泄との関連に着目して～ | 札幌西円山病院 | 草分亜美 | |
| D-3-6 | オムツ内湿潤改善を目的とした尿とりパッドの検討 | ユニ・チャーム株式会社 | 三嶋句子 | |

D-4 17:10～18:10 スキンケア

座長 松川雪絵 (池田病院・看護師長・看護師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|----------|-------|------|
| D-4-1 | アロエを用いたスキンケア(アロエベラ化粧水を試みて) | オアシス湘南病院 | 久保田晴樹 | |
| D-4-2 | アロマオイルを使用した皮膚トラブルの改善～ラベンダーオイルを使用し て～ | 福岡輝栄会病院 | 山村富志子 | |
| D-4-3 | 手掌の乾燥に挑戦 皮膚トラブルの減少に向けて | 北九州湯川病院 | 川江鈴代 | |
| D-4-4 | リンゴ酢で爪の肥厚が改善！！ | 木戸病院 | 與古田孝枝 | |
| D-4-5 | ピオクタニンによる爪白癬治療の試み | 奈良厚生会病院 | 善本英一郎 | |

E-1 14:00～15:00 ターミナルケア

座長 長尾和宏 (長尾クリニック・院長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|----------|-------|------|
| E-1-1 | 誤嚥性肺炎の予防へ向けて看護師に出来ること | 坂本病院 | 重久健太郎 | |
| E-1-2 | 気管切開長期療養者の気管変形に対する気切カニューレ個別製作対応 の紹介 | 北中城若松病院 | 山田義岡 | |
| E-1-3 | 医療療養型病床における乳癌末期患者へのかかわり | 南高井病院 | 渡部忍 | |
| E-1-4 | 肺癌から脳転移を発症された緩和ケア患者へのリハビリテーションの一症 例 | 手稲ロイヤル病院 | 宮澤亜紀 | |
| E-1-5 | ターミナル期がん看護における疼痛緩和ケアの現状と今後 | 緑成会病院 | 尾本まゆみ | |
| E-1-6 | 沖縄県北部地区の療養病床における緩和ケアの実際 ～今求められるこ と～ | 北山病院 | 儀間真由美 | |

E-2 15:00～16:00 ターミナルケア

座長 桑名斉 (信愛病院・院長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|----------------------|-------------|------|
| E-2-1 | 当院医療療養病床における悪性腫瘍終末期栄養法に関する現状調査 | わかさ竜間リハビリテーション病院 | 貴島真佐子 | |
| E-2-2 | 当院リハビリテーション療法士の終末期リハに対する思い ～2011年に実施した意識調査から考える～ | 定山溪病院 | 工藤理 | |
| E-2-3 | 療養病棟における終末期看護に対する看護師の意識調査 | 蒲郡厚生館病院 | 太田善子 | |
| E-2-4 | ターミナルケアに関する成長を促す経験調査 | 刈谷豊田総合病院東分院 | 加藤初音 | |
| E-2-5 | 医療療養病棟におけるターミナルケアの取り組み～アンケート調査の分析と考察～ | 温泉リハビリテーション いま泉病院 | 島田徳彦 | |
| E-2-6 | 過去6年間に経験したターミナルケア | 清水ヶ丘病院 | saitosaburo | |

E-3 16:10～17:10 ターミナルケア/栄養ケアマネジメント

座長 竹川勝治 (愛和病院・理事長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|-------------------|-------|------|
| E-3-1 | ターミナルケアの視点での経管栄養 -2年間の追跡調査- | 奈良東病院 | 原健二 | |
| E-3-2 | 筋萎縮性側索硬化症患者の栄養評価に対する身体計測指標の有用性 | 美原記念病院 | 鈴木ちひろ | |
| E-3-3 | ダンピング症候群(疑)による発汗が頻回にみられる患者への経腸栄養法の取り組み | すずかけ病院 | 横田明子 | |
| E-3-4 | 寝たきり経腸栄養患者の必要エネルギーの検討 | くぼかわ病院 | 小倉望 | |
| E-3-5 | 回復期リハビリテーション病棟入院患者の活動量と必要栄養量についての考察 | 千里リハビリテーション 病院 | 菊川真由 | |
| E-3-6 | 食事摂取量における看護・介護間の視点の統一に向けて - どれだけ食べたかなシートの作成 - | 南淡路病院 | 澤田真由美 | |

E-4 17:10～18:10 栄養ケアマネジメント

座長 加藤正彦 (春木病院・院長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--------------------------------|--------|-------|------|
| E-4-1 | 栄養補助食品で改善した鉄欠乏症性貧血 | 京浜病院 | 堀節子 | |
| E-4-2 | 半固形栄養食の利用-採用当初との比較- | 京浜病院 | 志越顕 | |
| E-4-3 | 高栄養流動食バッグタイプ導入について ～アンケート調査より～ | 鳴門山上病院 | 佐古はるか | |
| E-4-4 | 在宅療養における栄養ケアマネジメントの有用性について | 鹿島病院 | 澤幸子 | |
| E-4-5 | 「終末期の患者さまに対しての栄養士の関わり」について考える | 定山溪病院 | 蒲生亜矢子 | |

F-1 14:00～15:00 ターミナルケア

座長 横山宏 (恵信甲府病院・理事長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|------------|-------|------|
| F-1-1 | 一般病棟におけるターミナルケアのあり方 | 美原記念病院 | 清水みどり | |
| F-1-2 | レジデント豊中におけるターミナル患者の受け入れ | 平成記念病院 | 藤田有香 | |
| F-1-3 | 終末期の方への外出支援に向けて～特殊疾患療養病棟におけるチームでの取り組み～ | 北中城若松病院 | 當眞奈巳子 | |
| F-1-4 | ケア付き高齢者住宅における Aging in Place | 聖隷クリニック南大沢 | 宮城島正行 | |
| F-1-5 | グループホームにおけるターミナルケアの実施 ～夫婦で過ごすために～ | 永生病院 | 金井太佑 | |
| F-1-6 | 家族・本人が満足が得られる終末期のケア | いけだ病院 | 小川江美子 | |

F-2 15:00～16:00 ターミナルケア

座長 松田二美 (公立南砺中央病院・看護副部長・看護師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|-------------------------------------|----------|-------|------|
| F-2-1 | 家族の想いを支えて ～ターミナル期から始める看取り支援シートの作成～ | 柴田病院 | 河村恵美子 | |
| F-2-2 | 延命とは ～家族の思い～ | 呉記念病院 | 水野恵 | |
| F-2-3 | 看取りを語る - デスカンファレンスの意義と実際 - | 青梅慶友病院 | 布施衛子 | |
| F-2-4 | エンゼルケア学習会による看護師の行動と意識の変化の検証 | 協立温泉病院 | 堀元美里 | |
| F-2-5 | エンゼルケアを実施した看護師の意識調査 | 永井病院 | 廣瀬こずえ | |
| F-2-6 | 人として向き合う看取りの在り方 エンゼルメイクを導入してみえてきたこと | はいなん吉田病院 | 枝村明美 | |

F-3 16:10～17:10 予防医療/介護予防

座長 飯田達能 (永生病院・院長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|--------|------|------|
| F-3-1 | 認知症専門病棟の入院患者における脳波異常 | 大内病院 | 岡田政美 | |
| F-3-2 | 入院時における尿路結石症の実態調査 ～療養型病床において～ | 南高井病院 | 西尾俊治 | |
| F-3-3 | 再発性嚥下性肺炎におけるClarithromycin長期予防投与の有効性 | 湖東病院 | 猿原大和 | |
| F-3-4 | 骨密度標準Reference Valueの再構築～東浦平成病院用Reference Valueの作成及び考察～ | 東浦平成病院 | 新井康啓 | |
| F-3-5 | バランス訓練時の視覚情報の違いがもたらす変化について | 中洲八木病院 | 西本篤史 | |
| F-3-6 | リハビリテーションからみた転倒予防評価スケールの比較検討 | 浜寺中央病院 | 小川新矢 | |

F-4 17:10～18:10 介護予防

座長 上條裕朗 (上條記念病院・院長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|-------------------------------|------------------|-------|------|
| F-4-1 | 大柄な患者の体位変換による介護スタッフの腰痛軽減を図る | 聖ヶ丘病院 | 小野友里恵 | |
| F-4-2 | 介護予防の実施とその効果～運動習慣の獲得と継続について～ | 多摩川病院 デイサービスセンター | 高橋景樹 | |
| F-4-3 | 当院における地域支援事業～楽しく生きがいクラブの取り組み～ | 上條記念病院 | 松本睦 | |
| F-4-4 | 自宅で元気に過ごすために～より良い二次予防事業を目指して～ | 熱川温泉病院 | 杉山潤一 | |
| F-4-5 | 離床しましょう | 愛風病院 | 芦裕由嗣 | |
| F-4-6 | 手指硬縮予防の取り組み | 大浜第二病院 | 新城弘和 | |

G-1 14:00～15:00 看護計画/ケアプラン/クリティカルパス

座長 中尾郁子 (光風園病院・看護部長・看護師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|------------------------------------|----------|-------|------|
| G-1-1 | 個別性のある吸引の実施～気管吸引のタイミングは？～ | 若杉病院 | 池廣周美 | |
| G-1-2 | 患者様と関わる時間を増やそう！～他職種で進めるケアプラン運用の改善～ | 湖東病院 | 片岡由里 | |
| G-1-3 | 経管栄養を行っている患者様の経口摂取を試みて | 緑水会病院 | 三方直子 | |
| G-1-4 | 認知症クリティカルパスの開発と活用の成果 | 天竜すずかけ病院 | 水野紀美子 | |
| G-1-5 | 血管内脱水に対する間歇的補液療法について | 博愛記念病院 | 大和薫 | |

G-2 15:00～16:00 感染対策

座長 加藤寛 (泉佐野優人会病院・院長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|--------------|-------|------|
| G-2-1 | 感染予防対策向上の取り組み(大規模病院におけるICT活動状況) | 京都東山老年サナトリウム | 藤嶋兼助 | |
| G-2-2 | 5Sの視点から進める環境感染管理 | なごみの里病院 | 柴田俊夫 | |
| G-2-3 | 感染管理における検査科の役割(アンチバイオグラムを作成しよう) | 奈良厚生会病院 | 篠浦毅一郎 | |
| G-2-4 | 当院の介護療養病棟における感染教育の取り組み～全職員対象の感染チェックテストを実施して～ | 江藤病院 | 小川真紀 | |
| G-2-5 | 採血・血管確保時のディスポ手袋の着用率アップ大作戦 - ディスポ手袋は面倒じゃん。なぜ必要なの？を解決しよう - | りほく病院 | 鈴木敬子 | |
| G-2-6 | 「疥癬ケアに関する手順書」の改訂への取り組み | 南高井病院 | 加藤卓 | |

G-3 16:10～17:10 感染対策

座長 美原盤 (美原記念病院・院長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--------------------------------------|---------|------|------|
| G-3-1 | 酸性水を用いた胃瘻チューブ洗浄 | 愛生会病院 | 齋藤貴之 | |
| G-3-2 | 緑膿菌検出率と薬剤感受性および抗菌薬使用量の関係についての一考察 | 恵信甲府病院 | 中村由喜 | |
| G-3-3 | 腹臥位療法を取り入れた感染予防と拘縮の改善 ～一年間実施して～ | 上條記念病院 | 水畑宏 | |
| G-3-4 | CLABSI(中心静脈カテーテル関連血流感染)サーベイランスに取り組んで | 北淡路病院 | 宮本治美 | |
| G-3-5 | 尿路感染症予防への取り組み ～尿路感染症の発症率低下を目指して～ | 長田病院 | 西田直之 | |
| G-3-6 | 長期にわたり多量のウイルス排泄を認めたノロウイルス感染症例 | 北中城若松病院 | 小泉美穂 | |

G-4 17:10～18:10 入浴・清潔/家族とのかかわり

座長 市川多佳子 (鶴巻温泉病院・看護科長・看護師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|-----------------|-------|------|
| G-4-1 | 病棟職員とリハビリテーション科職員が感じる入浴介助量の相違について | 浜寺中央病院 | 朝来野恵太 | |
| G-4-2 | 移動マットを使用した入浴介助 | 小平中央リハビリテーション病院 | 高野真由美 | |
| G-4-3 | 恐怖感のない入浴援助方法を目指して | ケアホーム豊中 | 岡島洋平 | |
| G-4-4 | お風呂リラックス | 北淡路病院 | 沖代仁美 | |
| G-4-5 | 手浴を通して見えてきたこと ～手浴コミュニケーション～ | 流杉病院 | 永森房子 | |
| G-4-6 | 終末期患者の家族支援におけるリハビリテーション療法士の役割 ～グリーフケアの視点から～ | 定山溪病院 | 南部浩志 | |

H-1 14:00～15:00 労務管理

座長 原真由美 (東浦平成病院・事務長・事務)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|---------|-------|------|
| H-1-1 | リハビリテーション部における組織管理ツールの構築 ～バランスト・スコアカードとクリニカルラダーによる一元管理を目指して～ | 総泉病院 | 中川清隆 | |
| H-1-2 | 職員に対するメンタルヘルス支援の取り組み | 加治木温泉病院 | 岩元千扇 | |
| H-1-3 | 職員の腰痛予防に向けての取り組み | 富士小山病院 | 高橋美紗都 | |
| H-1-4 | 夜勤業務休憩にアロマテラピーを行った効果 | 南昌病院 | 藤村純子 | |
| H-1-5 | 職業性メンタルヘルス ～アンケート調査を実施して～ | 高知病院 | 平石愛 | |
| H-1-6 | 取り組もう「Fish! 哲学」第1歩 | 生駒病院 | 正木恭子 | |

H-2 15:00～16:00 労務管理/日常的管理や記録

座長 矢野善宣 (新仁会病院・医事課長・事務)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|---------|-------|------|
| H-2-1 | EPAによるフィリピン人介護福祉士候補者を受け入れて | 京都南西病院 | 大倉明 | |
| H-2-2 | なんとかしたい！！人員の充足 ～「専門職」に視点を向けた取り組みを報告する～ | 旭ヶ丘病院 | 仁科明美 | |
| H-2-3 | 当院の教育システムの評価～看護師・介護士の統合教育を行って～ | 北斗わかば病院 | 赤石ゆかり | |
| H-2-4 | 夜勤者の夜勤負担の軽減を試みて | 内田病院 | 桜井裕美 | |
| H-2-5 | 気管切開の自動喀痰吸引装置導入～自動喀痰吸引装置の使用経験について～ | 富家病院 | 藤田雅 | |
| H-2-6 | 入院患者動向から考える介護療養型病棟の役割 | 永生病院 | 高尾なおみ | |

H-3 16:10～17:10 日常的管理や記録/広報関連/カスタマーサービス

座長 中達祐樹 (聖ヶ丘病院・事務部長・事務)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|------------------|-------|------|
| H-3-1 | 処置室内の情報共有 ～処置室ベッドに休んでいる患者様の情報が共有できる～ | 湯田内科病院 | 銚谷マリ子 | |
| H-3-2 | 初めてのケアプラン～統一したケアを目指して～ | 高田病院 | 岩崎慎吾 | |
| H-3-3 | 「医学的」「科学的」ではなく「物語的」に理解する ～ナラティブへの取り組み～ | 特別養護老人ホーム 大井苑 | 小倉一樹 | |
| H-3-4 | SOS 患者様を救え！！～東日本大震災、準被災地として学んだこと～ | 西山堂慶和病院 | 小林恵子 | |
| H-3-5 | 住宅型有料老人ホームにおけるマーケティング戦略・管理手法についての実践報告 ～当院(慢性期病院)における病床確保として～ | 加治木温泉病院 | 丸尾兼司 | |
| H-3-6 | 患者様の苦痛を少しでも軽く ～X線撮影において～ | 玉島病院 | 安井敏子 | |

H-4 17:10～18:10 医療区分

座長 伊豆敦子 (東浦平成病院・理事長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|---------|-------|------|
| H-4-1 | 介護療養病床廃止前に必要なこと ～過去5年間の退院患者調査より～ | 札幌西円山病院 | 大植友樹 | |
| H-4-2 | 「介護療養病床が廃止されることへの懸念」～方向性の調査から見えたもの～ | 札幌西円山病院 | 鈴木基之 | |
| H-4-3 | 回復期リハビリテーション病棟からみた介護療養病床の必要性 -療養病床の再編成のあり方- | 美原記念病院 | 加藤充子 | |
| H-4-4 | 看護必要度と医療区分制度の相関性に関する一考察 | 康明会病院 | 竹内美智子 | |
| H-4-5 | 当院における退院調整の現状と今後の課題 ～医療区分1の患者へのアプローチ～ | 定山溪病院 | 太田敏弥 | |

I-1 14:00～15:00 薬剤

座長 山崎浩 (永生病院・薬剤科長・薬剤師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|-------------------------|-----------|-------|------|
| I-1-1 | 新薬導入による変化～ジャヌビア錠の導入～ | 弥刀中央病院 | 大西由記 | |
| I-1-2 | Ca拮抗剤・ARB配合剤への変更の効果 | 総泉病院 | 横山佑 | |
| I-1-3 | 園生におけるボトックス筋注の効果・効用について | 緑成会病院 整育園 | 山田直人 | |
| I-1-4 | 持参薬減量による影響 | 春木病院 | 武部哲也 | |
| I-1-5 | 当院における副作用回避事例 | 泉佐野優人会病院 | 南美登里 | |
| I-1-6 | ワーファリン服用患者の食事形態の評価について | 橋本病院 | 矢合有紀子 | |

I-2 15:00～16:10 薬剤/機能評価/病院経営

座長 賀勢泰子 (鳴門山上病院・薬剤部長・薬剤師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|---------|-------|------|
| I-2-1 | 療養型病院におけるグループ化長期実務実習への取り組み | 札幌西円山病院 | 新堀英正 | |
| I-2-2 | 当院における薬剤管理指導業務の推進について - 支援システムのバージョンアップによる業務の効率化 - | 札幌西円山病院 | 高木淳子 | |
| I-2-3 | 市販デ - タベ - ソフトを用いた情報共有ソフトの構築 ~ 医薬品情報デ - タベ - スの構築を中心に ~ | 大宮共立病院 | 曽根正貴 | |
| I-2-4 | 視覚的情報を用いた、大腿四頭筋の筋力変化の検討 | いわき湯本病院 | 小野雄太郎 | |
| I-2-5 | TQMセンターの活動報告～慢性期医療のCI受審を中心に～ | 永生病院 | 境野博久 | |
| I-2-6 | 東日本大震災の被災経験から、医療機関における「水」の問題を考える | 佐原中央病院 | 山本志麻 | |

I-3 16:10～17:10 病院経営

座長 遠藤正樹 (康明会病院・常務理事・事務)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|--------|-------|------|
| I-3-1 | 当院における経費削減の取り組み ~ 施設管理と購買管理の両面から ~ | 定山溪病院 | 久保晃一郎 | |
| I-3-2 | CO2排出削減を目指して -Wエコプロジェクトの試み(第1報)- | 美原記念病院 | 清水博昭 | |
| I-3-3 | 「半固形栄養剤を使用したタイムトライアル比較による、食事業務工数の削減効果と看護の質の向上について」 | 内田病院 | 星野ますみ | |
| I-3-4 | 未収金について～当院の未収金対策について～ | 弥刀中央病院 | 乾雪美 | |
| I-3-5 | 今年度の長期未収金の発生はゼロ | 前田病院 | 水野久美子 | |
| I-3-6 | 当院における問題解決の取り組み ~ QCミーティングの活用 ~ | 大久野病院 | 伊藤正一 | |

I-4 17:10～18:10 病院経営

座長 大竹秀樹 (板橋中央総合病院・経営戦略事務長・事務)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|---------------|-------|------|
| I-4-1 | 慢性期医療における人材確保の取り組み ～採用から育成への転換と波及効果について～ | 鶴川サナトリウム病院 | 長谷部好信 | |
| I-4-2 | EPA・外国人看護師を受け入れて | 永生病院 | 宮澤美代子 | |
| I-4-3 | 看護師さんは大変です | 福山記念病院 | 田中綾子 | |
| I-4-4 | ブランディング戦略と今後の事業戦略 | 康明会病院 | 田島弘康 | |
| I-4-5 | 高齢者を対象とした満足度調査:欠損値が目立つ調査票の統計処理法と満足度向上に向けての改善優先度の設定 | 池端病院 | 河上誠 | |
| I-4-6 | 医療及び医業経営の抜本的対策 第5報 世直しのための在宅医療 | 大谷リハビリテーション病院 | 大谷宏明 | |

J-1 14:00～15:00 家族とのかかわり

座長 高橋祐子 (富家病院・臨床心理士)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|---|---------------|-------|------|
| J-1-1 | 地域生活を支える家族と精神科デイケアの連携 | 大内病院 | 中村聡太郎 | |
| J-1-2 | ご家族への心理的支援の取り組み ～3事例の報告～ | 北中城若松病院 | 浜口史代 | |
| J-1-3 | 一般病棟退院後の家族負担・不安に関する調査(過疎地で生活する老老介護家族を対象として) | 藤岡市国民健康保険鬼石病院 | 池田晴美 | |
| J-1-4 | ケースワーカーとしての役割と課題 ～身寄りのない高齢者夫婦との関わりから～ | 嵯峨野病院 | 澤井千春 | |
| J-1-5 | 高齢のご家族への援助 | ナカムラ病院 | 木本悠香 | |
| J-1-6 | 患者、家族のニーズに応えるケア提供への取り組み | 鶴巻温泉病院 | 福土琢哉 | |

J-2 15:00～16:00 家族とのかかわり

座長 田中謙 (南多摩病院・副院長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|---------------|-------|------|
| J-2-1 | 「グチ愚痴会」 ～当院における介護家族への支援の取り組み～ | 西条愛寿会病院 | 瀬名波耕二 | |
| J-2-2 | 「家族会って、参加して為になる！そして楽しい！」を目指して～活動分析からみる問題と対策～ | 魚津病院 | 中村円 | |
| J-2-3 | 家族との関わりについて考える ～家族参加型レクリエーションをきっかけとして～ | きせがわ病院 | 清水恭代 | |
| J-2-4 | 介護療養病棟における利用者の家族支援を考える～近況を伝える方法に写真添付を試みて～ | 洞爺温泉病院 | 清水美智子 | |
| J-2-5 | 家族にはがきを送ろう | 砺波サンシャイン病院 | 山本直樹 | |
| J-2-6 | 退院患者・家族との交流から得たこと | 千里リハビリテーション病院 | 杉谷美絵 | |

J-3 16:10～17:10 医療ソーシャルワーク

座長 菊地攻 (定山溪病院・医療福祉課 課長・MSW)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|----------|-------|------|
| J-3-1 | 療養病床におけるソーシャルワークについて考える ～医療福祉課年報の分析から～ | 定山溪病院 | 塚本晃平 | |
| J-3-2 | 「どうしよう…」～中途障害によって家族問題が表面化したケース～ | 富家病院 | 橋村健司 | |
| J-3-3 | 不安を抱えて転院をされるご家族に対しての当院の取り組み | いけだ病院 | 安達憲子 | |
| J-3-4 | 在宅復帰につなげるための支援-事例を通して見えたこと- | 鳴門山上病院 | 市橋和喜 | |
| J-3-5 | 「リハビリがしたい」その言葉の意味は | 公立南砺中央病院 | 木下沙依子 | |
| J-3-6 | 介護支援連携指導料に伴う在宅復帰支援 | 阿蘇温泉病院 | 藤本大二 | |

J-4 17:10～18:10 医療ソーシャルワーク/通所サービス/ノルディックウォーキング

座長 松谷之義 (松谷病院・理事長・医師)

| 演題 | 演題名 | 所属 | 発表者 | Page |
|-------|--|------------------|-------|------|
| J-4-1 | 当院における急性期病院から受け入れについて | 荻原みさき病院 | 浜島善次郎 | |
| J-4-2 | 当院における療養病床退院患者に関する一考察 | くぼかわ病院 | 山本麻子 | |
| J-4-3 | 通所利用者に対する理学療法における運動療法の効果の検討 | 南小樽病院 | 佐々木淳一 | |
| J-4-4 | 当院における短時間デイケア利用者の傾向と実態 | 浜寺中央病院 | 菊野晃史 | |
| J-4-5 | トレッドミル上におけるノルディックウォークと通常歩行比較～遊脚期と立脚期の膝関節負担の考察～ | イムス板橋リハビリテーション病院 | 鈴木盛史 | |
| J-4-6 | デイサービスにおけるノルディックウォークの導入 | しげい病院 | 齋藤清 | |